お名前

読めないと恥ずかしい常識漢字

問題

漢字の読みを、ヒントを手がかりに□へひらがなで書きましょう。

見本 時雨 → し ぐ れ　ヒント：秋から冬に、降ったりやんだりする雨

1. **出汁** → □□
   和食の味の土台
2. **流石** → □□□
   感心するときの言葉
3. **躓く** → □□□□
   石に足をとられる
4. **何卒** → □□□□
   手紙の結びに使う言葉
5. **会釈** → □□□□
   かるく頭を下げる
6. **如何** → □□□
   「ご機嫌〇〇〇ですか」
7. **胡座** → □□□
   足を組んで楽に座る
8. **塩梅** → □□□□
   味のかげん
9. **忖度** → □□□□
   相手の気持ちをおしはかる
10. **綻びる** → □□□□□
    縫い目がほどける

□の数が読みの字数です。小さい「っ」なども、1マスに1字書きます。

お名前

読めないと恥ずかしい常識漢字

問題

漢字の読みを、ヒントを手がかりに□へひらがなで書きましょう。

見本 時雨 → し ぐ れ　ヒント：秋から冬に、降ったりやんだりする雨

⑪ **割愛**
惜しいけれど省くこと
→ □□□□

⑫ **遵守**
法律や決まりを守る
→ □□□□□

⑬ **懸念**
気がかりなこと
→ □□□

⑭ **杞憂**
いらない心配
→ □□□

⑮ **相殺**
貸し借りを差し引きゼロ
→ □□□□

⑯ **躊躇う**
迷って決心がつかない
→ □□□□

⑰ **窺う**
そっとようすを見る
→ □□□□

⑱ **唆す**
悪いことに誘いこむ
→ □□□□□

⑲ **憚る**
遠慮する。気がねする
→ □□□□

⑳ **強か**
手ごわくて簡単に負けない
→ □□□□

□の数が読みの字数です。小さい「っ」なども、1マスに1字書きます。

読めないと恥ずかしい常識漢字

答え

① 出汁　だし
かつお節や昆布を煮出した うま味の汁

② 流石　さすが
やはり たいしたものだ、と感心するときの言葉

③ 躓く　つまずく
足が物に当たって よろける

④ 何卒　なにとぞ
どうか。ぜひとも

⑤ 会釈　えしゃく
かるく頭を下げる あいさつ

⑥ 如何　いかが
どのように。「いかん」とも読む

⑦ 胡座　あぐら
足を組んで 楽に座ること

⑧ 塩梅　あんばい
味のかげん。物事のほどあい

⑨ 忖度　そんたく
人の気持ちを おしはかること

⑩ 綻びる　ほころびる
縫い目がほどける。花が開きはじめる

読めないと恥ずかしい常識漢字

答え

⑪ **割愛**　かつあい
惜しいと思いながら 省いたり手放したりすること

⑫ **遵守**　じゅんしゅ
法律や決まりに従って 守ること

⑬ **懸念**　けねん
気になって 不安に思うこと。ふつうは「けねん」と読む

⑭ **杞憂**　きゆう
取りこし苦労。昔の中国 杞の国の人が 天が落ちると心配した話から

⑮ **相殺**　そうさい
たがいに差し引いて 打ち消し合うこと。この意味では ふつう「そうさい」と読む

⑯ **躊躇う**　ためらう
迷って 決心がつかないこと

⑰ **窺う**　うかがう
そっとようすを見る。機会を待つ

⑱ **唆す**　そそのかす
おだてて 悪いことをするように仕向ける

⑲ **憚る**　はばかる
遠慮する。人の目を気にして ためらう。「幅をきかせる」の意味もある

⑳ **強か**　したたか
手ごわく 粘り強いこと